



開催時間 11:00~19:00

KYO-SENSE パートナー



主催：京都学生祭典実行委員会 〒600-8216京都市下京区西洞院通塩小路下ルキャンパスプラザ京都内 TEL 075-353-9432
共催：京都学生祭典組織委員会（京都府/京都市/京都商工会議所/一般社団法人京都経済同友会/公益財団法人大学コンソーシアム京都）

京都学生祭典とは？



京都への誇りを
唯一無二の体験に

第24回京都学生祭典
実行委員長
伊藤 駿
京都大学 大学院

京都学生祭典とは、2003年から毎年10月に平安神宮前で繰り上げられる一大イベントで、今年で24年目を迎えます。人口の割を学生が占める学生のまち・京都で学ぶ大学生だからできる学生プロデュースのお祭りです。学生の情熱や元気溢れる姿が、こちらまで元気をもらえるという声を毎年いただいています。

第24回は「今日が一番、京都好き。」をテーマに、おどり、音楽、食、文化を通じて、来場者の方々が、普段、京都で生活していることを誇りに思える空間を創造し、京都学生祭典でしか体験できない非日常をお届けします。

来場者10万人以上！

学生がプロデュースする京都のお祭り

「学生のまち・京都」だからできる！

THE 24TH KYOTO STUDENT FESTIVAL

第24回 京都学生祭典

2026年10月11日(日)

@ 平安神宮前・岡崎プロムナード一帯

開催時間 11:00~19:00

2003年から始まった京都の秋の
一大イベント「京都学生祭典」。

おどり、音楽、食、スポーツ、アートなど
多彩な催しが10万人以上の観客を魅了する！

CHECK 1

自由なジャンルで踊って楽しむ
「京炎 そでふれ！」

SODEFURE DANCE!



熱のこもったオリジナル演舞に注目

“京炎 そでふれ!”から始まるチームは現在11チーム。さまざまな場所で活動しています。これらホストチームの共通点は京炎 そでふれ!という創作踊りを踊ること。反対にチームの個性が出るのがオリジナル演舞。各チームが独自の演舞を曲・振り・衣装・道具、一から丁寧に制作し、披露します。そして11チーム全てのオリジナル演舞が見られるのが京炎 そでふれ!コンテストです。優勝目指して競い合うホストチームの演舞をぜひご覧ください！





CHECK 2

MUSIC!

あらゆる音楽に夢をのせて…
「Kyoto Student Music Award」

音楽を通して学生の夢を感じて！

私たちが知る学生の音楽コンテストの多くは屋内で開催されており、観客も出演者の友人や関係者が中心になることが多いです。しかし、多くの出演者は、より多くの人に自分の音楽を届けたいという夢を持っています。京都学生祭典では、一般の方にも多く来場していただけるため、学生たちが夢を追いかける姿や、パワフルな音楽を肌で感じることができます。雅で美しい平安神宮さえも一瞬にして虜にする学生たちの姿をぜひご覧ください！



誰かの「好き」があなたの「好き」に

今年の京都学生祭典では、マルシェ形式の企画「ムチュウでマルシェ」を開催。フード、ハンドメイド作品など、学生一人ひとりの熱量と好きが詰まったブースが並びます。多彩な「好き」が集まることで、会場はさまざまな表現が交わるマルシェになります。出店者一人ひとりの想いや表現にふれ、自分の新たな「好き」に出会う、発見するきっかけとなるマルシェです。ムチュウになって「好き」に取り組む学生の熱量をぜひ会場で感じてください！

CHECK 3

自分の“好き”を誰かに届ける
「ムチュウでマルシェ～好きでつながる交差点～
Supported by 隠し芸マルシェ」

FOOD!



ここに注目！私たち学生が作る

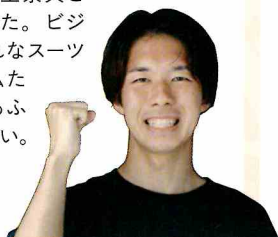
第24回 京都学生祭典

京都学生祭典の実行委員から届いたメッセージがこちら。
自らの手で祭典を作り上げるスタッフの生の声を聞けば、見どころが見えてくる！

私は営業管理担当として、京都学生祭典と企業様をつなぐ役割を担ってきました。ビジネスマナーを身に付けることや不慣れなスーツでの移動など苦労もありました。私たちが懸命に架け橋となった、魅力あふれる協賛企業様にぜひご注目ください。

営業管理担当

井澤 修一 立命館大学 2年生



今年度は、挑戦的な組織体制のもと、試行錯誤を重ねながら活動に取り組んできました。壁にぶつかることもありましたが、学生一人ひとりの「もっと良くしたい」という想いを形にしています。当日は、学生ならではの熱量あふれる祭典をぜひお楽しみください！

副実行委員長

乾 亜奏 京都産業大学 3年生



岡崎グラウンド担当は、少ない人数で助け合いながら、来場者の方々が見るだけでなく参加して楽しめるような京都学生祭典にしようとしてここまで頑張ってきました。今年は岡崎グラウンドに新企画をいくつか用意しましたので、変わった京都学生祭典をお楽しみください！

企画担当
(岡崎グラウンド企画)

藤井 遙風

京都大学 3年生



第24回が発足した当初は、人数も不安定で本番当日の未来が全く想像できませんでした。しかし、こうして本祭に向けてさまざまな企画が動いていることに、今はワクワクが止まりません！舞台上だけでなく、舞台裏で頑張っている学生にもぜひ注目してみてください！

広報担当

小松 未知

京都文教大学 3年生

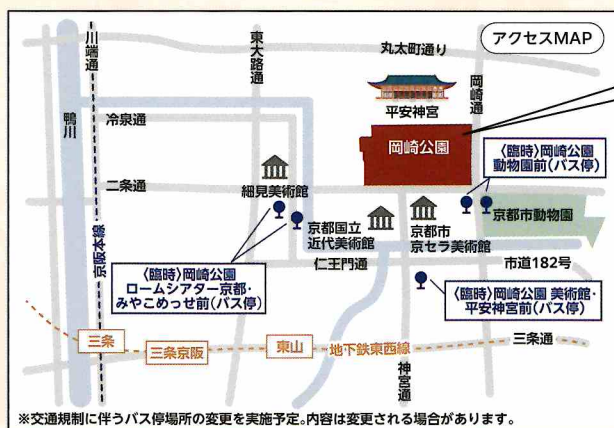


営業管理担当として企業を訪問し、学生祭典が企業に何を提供できるかを考え、双方にメリットのある企画を相手に寄り添って説明してきました。当日は成果を実感しにくいですが、協賛ロゴを見て私たちが思い出していたら嬉しいです。

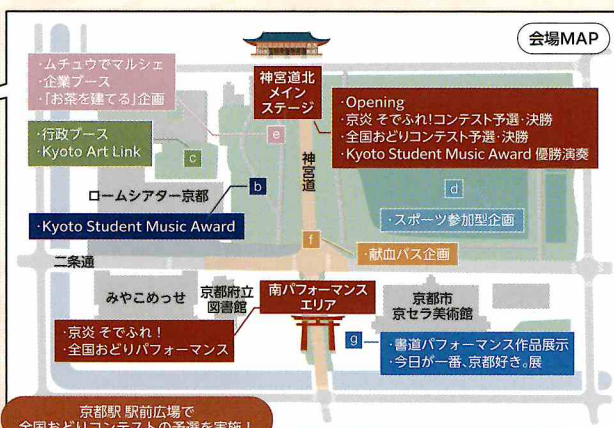
営業管理担当

栗木 勇輝

同志社大学 1年生



地下鉄東西線「東山駅」より徒歩10分、京阪「三条駅」より徒歩15分、京都市バス「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前(臨時)」「岡崎公園 美術館・平安神宮前(臨時)」下車すぐ ※ご来場の際は便利な市バス・地下鉄をご利用ください



Cover/阿部 瑞希
(立命館大学 大学院)



HP

Instagram

X



※本企画の実施時間や内容は雨天時により変更、または中止になる場合があります。HP、各種SNSにて発表しますので、来場前にご確認ください。